

大俣小だより

9月号

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



2学期、スタート!!

38日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。始業式の日には、多くの課題や荷物を持ち、元気に登校する姿が見られました。夏休みの間、保護者や地域の皆様には様々な面でお世話になりました。ありがとうございました。今年度は、2学期最初の一週間を3時間授業にさせていただきました。生活リズムを整え、元の学校生活に戻すための準備期間となったことと思います。

さて、夏休み明け、教室や廊下に飾られた自由研究や絵画・工作、各教室での体験発表会からは、子どもたちが夏休みにしかできない経験をしていることが伝わってきました。2学期は、修学旅行や遠足などの行事や生活科・総合的な学習の時間の体験活動などがたくさんあります。夏休みの間に挑戦したこと、学んだことを学校生活の様々な場面で生かしてほしいと思います。

また、2学期も充実した日々となるよう、教職員一丸となって努力してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



パリ2024 オリンピック パラリンピック

夏休みには、ちょうどオリンピックが開催されました。日本代表の活躍に胸躍らせた方も多かったのではないのでしょうか。

今回のパリ五輪、賛否はありますが、環境への配慮や新しい発想の開会式、多様性への対応など、今日の社会的課題に対応した面が多くありました。

そのような中、子どもたちは、スポーツを通して友情や絆を深めることや努力の大切さ、フェアプレー精神などを学び取っているようです。何より、感動し共感することで、他者理解や感謝の気持ちを育むことができたのではないかと思います。

現在、パラリンピックも開催されています。子どもたちがスポーツだけでなく、人生においても重要な価値観に触れられるよい機会となり、子どもたちの成長の一助になるとうれしいです。

気になることは ありませんか？

友達関係のことや生活のこと、学習のことで困っていることはありませんか。

お子様について何か気掛かりな様子が見られた場合は、すぐに担任や特別支援コーディネーター、養護教諭等、相談しやすい教職員にご相談ください。必要であれば、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにもつなげることが可能です。

また、徳島県総合教育センター特別支援・相談課では、18歳までの幼児児童生徒、保護者等の不安や悩みに対し、相談を受け付けています。不登校、学校もしくは家庭における問題、及び発達障がいを含む障がいのある子どもについての相談にも応じていただけます。子どもたちをよりよく伸ばしていくために、お気軽にご相談ください。